

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害福祉費

事業名 **新** 全国ろうあ高齢者大会等開催費補助金
(単補)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2608)

E-mail: c11226@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 500 千円 (前年度予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額	500	0	0	0	0	0	0	0	500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国各地のろうあ高齢者が一堂に集い、相互の親睦と交流の中で社会生活上の諸問題や福祉活動について情報を交換するとともに、ろうあ高齢者の抱えている問題を広く一般社会に啓蒙していくことを目的とした全国ろうあ高齢者大会等への補助。

(2) 事業内容

全国で毎年持ち回り開催されている全国ろうあ高齢者大会が、令和3年9月に県内で開催され、全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会、全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会も同期間に開催されるため、それに係る経費として、主管である一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会に対し補助を行う。
※前回 (H12) の岐阜県開催時も 500 千円の補助を実施。

<第33回全国ろうあ高齢者大会開催概要>

名称：第33回全国ろうあ高齢者大会

(第35回全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会、第12回全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会 併催)

主催：一般財団法人全日本ろうあ連盟 高齢部

主管：一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会

期日：令和3年9月23日(木・祝)～26日(日)

会場：岐阜市内

後援：(予定) 岐阜県、岐阜市、岐阜県教育委員会 他

(3) 県負担・補助率の考え方

県 10/10 定額補助

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	協会への開催費補助金
合計	500	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

なし

(2) 国・他県の状況

令和2年度 青森県(東北ブロック)

令和元年度 和歌山県(近畿ブロック)

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

一般財団法人全日本ろうあ連盟加盟団体である一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会が実施することは妥当。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

補助事業名	全国ろうあ高齢者大会等開催費補助金
補助事業者（団体）	一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会 （理由） 同団体は、一般財団法人全日本ろうあ連盟加盟団体であり、本大会の主管団体であるため。
補助事業の概要	（目的） 全国ろうあ高齢者大会等の開催に係る支援 （内容） 全国ろうあ高齢者大会、全国ろうあ高齢者ゲートボール競技大会、全国ろうあ高齢者グラウンド・ゴルフ大会に係る開催経費を一般社団法人岐阜県聴覚障害者協会へ補助する。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容） （理由）
補助効果	ろうあ高齢者が相互に親睦を深めるとともにろうあ高齢者の抱えている問題を広く一般社会に啓蒙していくことにつながる。
終期の設定	終期 3 年度 （理由） 開催地は全国持ち回りであり、令和 3 年度の開催県が岐阜県であるため。

（事業目標）

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

ろうあ高齢者が相互に親睦を深めるとともに、ろうあ高齢者の抱えている問題を広く一般社会に啓蒙していく。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R2 年度末)	目標 (R3 年度末)	目標 (終期)
参加者数（人）	0	780	780

	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度 (要求)
補助金交付実績	千円	千円	千円	(予算額) 千円	(要求額) 千円
指標①目標					
指標①実績				(推計値)	(推計値)

指標①達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %
指標②目標					
指標②実績				(推計値)	(推計値)
指標②達成率	%	%	%	(推計値) %	(推計値) %

(前年度の成果)

(今後の課題)

- ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項
ろうあ高齢者の抱えている問題を一般社会に啓蒙していくことが必要。

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価)	大会が開催されることにより、ろうあ高齢者が抱えている問題を広く一般社会に啓蒙し、障がい者の社会参加への促進につながるものとなっている。 ○
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価)	

(事業の見直し検討)

(終期到来時の翌年度以降の事業方針)

継続・削減・統合・廃止
(理由)

